

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年2月26日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	泉海陸作業株式会社
所在地	〒104-0052 東京都中央区月島四丁目18番1号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 高木延康
担当者連絡先	電話：03-3531-1141
	メール：y-takagi@izumikairiku.co.jp
ウェブサイトURL	y-takagi@izumikairiku.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>当社は戦後間もない1949年7月、東京港において主に石炭やコークスを扱う船内荷役作業、沿岸荷役作業を請け負う港湾運送事業会社として発足しました。当初は労働集約型の作業が主体でしたが、時代とともに機械化を進め、現在では大手ガス会社からのLNG荷役付帯作業と保安を受託し、根岸（横浜港）、袖ヶ浦（千葉港）、扇島（川崎港）のLNG基地において、都市ガスの安定供給に貢献しております。また、コンテナ船時代の対応では、1987年に東京港大井コンテナ埠頭で荷役を開始。現在は青海コンテナ埠頭、中央防波堤外側コンテナ埠頭において本船荷役作業とコンテナヤード作業を担い、総合力で港湾事業を支えています。2018年には新規事業として「ドローン部門」を立ち上げ、ドローンスクール運営や太陽光パネルの点検といったドローンを利用した幅広い業務を展開しております。</p>
--


















3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	環境負担を考えた設備導入 ・本社照明のLED等への更新	・照明のLED化を高める
□環境 ✓社会 ✓経済	ダイバーシティへの取組	・女性社員比率目標：35%以上（本社） ・障害者雇用率目標：3%以上
□環境 ✓社会 ✓経済	教育支援、地域への貢献	・地元の小中学校への寄付継続

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・役員、部門長による個別面談を実施				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・時間外を毎月報告し、長時間労働の防止に取り組んでいる ・労働基準法における36協定を遵守								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・毎月安全衛生委員会を開催 ・毎月安全パトロールを実施			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・年1回のストレスチェックを実施し、希望者は産業医との面談を実施			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・再雇用制度の実施(令和4年度現在再雇用者9名) ・障害者法定雇用率の達成(令和4年度現在3名)					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・VRを使用した安全教育 ・入社時の理念教育 ・免許取得希望者に対し補助金を支給 ・新入社員教育チェックリスト作成				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・嘱託職員に時間外手当、交通費を支給					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・毎年1回の健康診断			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・社内でペットボトルのキャップを回収して社会貢献、環境改善に努めている ・ゴミの分別活動を実施										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・LED照明の使用 ・毎月電気・水道の使用料金を周知 ・クールビズの推奨							7.3						13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9		6.3						11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している					6.6										15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる					6.4 6.6													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9		6	7					12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・SDGsへの取り組みをホームページに情報開示										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる						7.2						13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・名刺・コピー用紙・トイレトペーパーに再生紙を使用 ・ゴミ袋、食器洗い洗剤も環境に配慮した製品を使用										12.2	13	14	15				
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9								12.4							
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9									
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・バイオマスプラスチックを使用したボールペン作成					6					12	13	14	15				
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・本社正面玄関口にAEDを設置し、近隣住民への提供準備も整えている ・ドローンによる災害時行方不明者の捜索支援 (2021年静岡熱海警察署より感謝状受領)				4						9	11	12	14	15		17	
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ワクチンキャップの実施 ・地域の小中学校へ学生新聞とラックを寄付				4						11		14	15			17	
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用 (地消地産、地産外商) している									8	9	11	12	13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	・SDGs達成に向けた自社での取り組みや目標の情報発信、社内共有								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																16		
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・SDGs推進の社内プロジェクトチームを発足している															16		
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																16	17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																16		
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16		
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・安全衛生防災管理計画書の作成 ・災害時に全社員への安否確認を実施									9		11		13.1		16		
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。